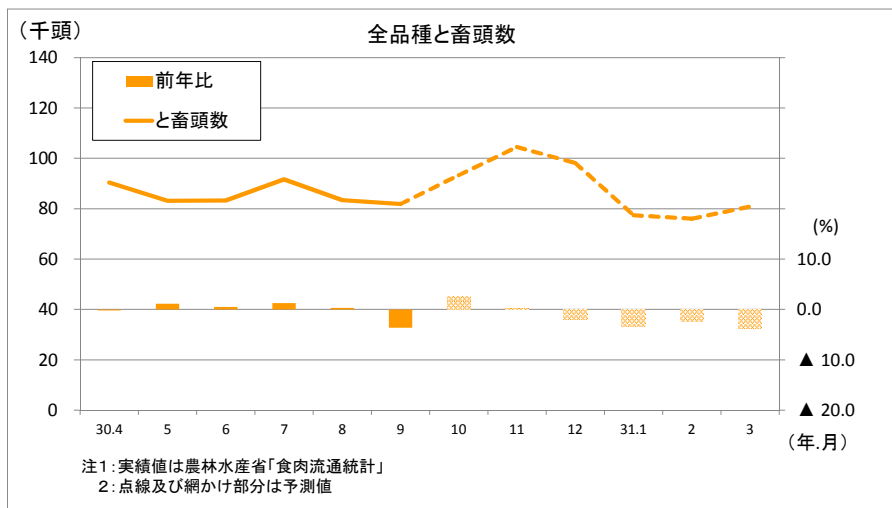
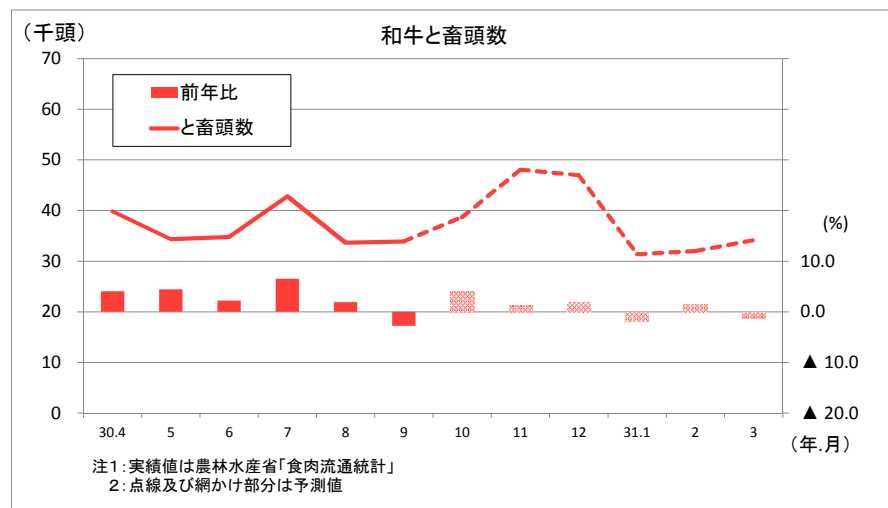


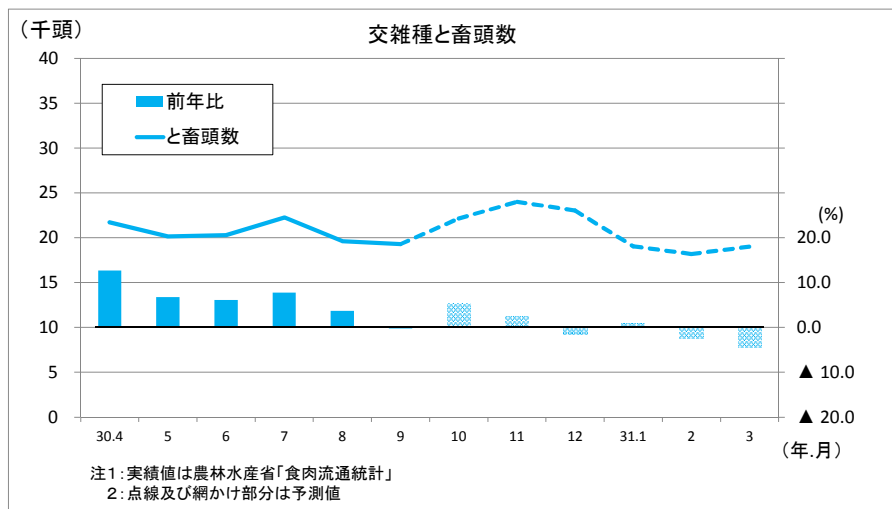
牛のと畜頭数の見込みについて(平成30年10月～平成31年3月)



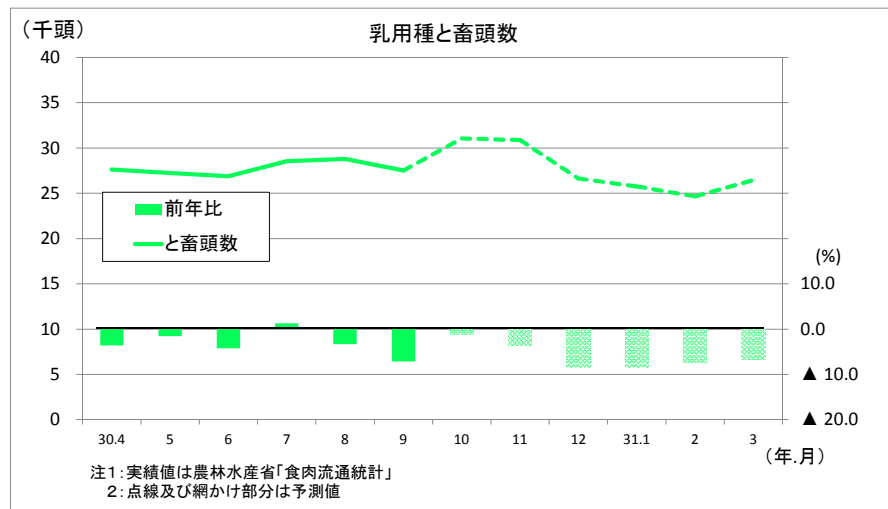
・平成30年10月～平成31年3月のと畜頭数は、和牛の増加が見込まれるものの、乳用種の減少が見込まれることから、合計では前年同期比約1%減と見込む。



・和牛については、生産基盤の回復に伴う出生頭数の増加により、平成30年10月～平成31年3月は、前年同期比約1%増と見込む。



・交雑種については、酪農家における性別別精液の活用もあり、2月以降に減少が見込まれるものの、平成30年10月～平成31年3月は、前年同期並みと見込む。



・乳用種については、離農等による生乳生産基盤の縮小などにより、平成30年10月～平成31年3月は、前年同期比約6%減と見込む。